



考え、議論する道徳に向けた授業改善と評価の工夫

豊島区立 要小学校

あいさつ

校長 川合 一紀

平成30年度から道徳は特別の教科道徳として位置づけられ、それを要として道徳教育は全教育活動を通して行われることとなります。しかしこれは新しいことが始まったわけではなく、従来からの道徳の授業の考え方を改めて整理したといった方が良いでしょう。道徳教育の目標は「道徳性の育成」です。道徳性とは人間が生まれもっているよりよく生きようとする内面の資質であり、簡単に言えば、善と悪とを正しく判断し、善を喜び積極的に行って、悪いことにはブレーキをかける力だと言えます。その育成にあたり、教師の高い授業力と適切な評価はその一助になることは言うまでもありません。今回はそのことを焦点化し授業改善と評価の工夫に力を入れました。研究にあたりましては、このねらい達成の機会を与えていただきました三田一則教育長をはじめとする豊島区教育委員会の皆様、講師としてご指導いただきました聖徳大学大学院教授 吉本恒幸先生には心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

◇ 研究構想図

児童の実態

- ・自分のやりたいことには、意欲的に取り組むことができる。
- ・誰とでもよりよく生きようとする協働の精神を高める必要がある。

学校教育目標

- 健康でたくましい子
- ◎思いやりの心をもち協力する子
- よく考え進んで学ぶ子

社会的側面

- ・家庭や地域社会における関わり合いの不足
- ・挨拶・返事、マナーなどの基本的な礼法の未定着
- ・「特別の教科道徳」先行実施

道徳教育の重点目標

●協働と自律と創造に基づく全人格教育

- ・道徳の授業を基盤とし全教育活動を通して心を育てる。
- ・挨拶、返事、マナーなどの礼法の指導を徹底し、よりよく生きる術を身につけさせる。
- ・人権尊重の精神を理解し、思いやりの心をもって他者と共によりよく生き抜くために協働の精神を育む。
- ・社会の変化に対応し、その形成者として自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動するための自律の精神を養う。また、社会事象や身の周りの事物に主体的に働きかける創造の力を育む。

目指す児童像

すずかけ分科会

- ・身近にいる人に親切にすることができる児童
- ・良いことと悪いこととの区別ができ、正しいと判断したことを自信をもって行うことができる児童
- ・みんなの役に立つことを進んでできる児童

低学年分科会

- ・気持ちの良い挨拶や言葉遣いなどの礼儀を身につけ、身近にいる人へあたたかい心で接することができる児童
- ・よいことと悪いこととの区別ができ、行動できる児童
- ・約束やきまりを守ることができる児童

中学年分科会

- ・相手のことを思いやり、進んで親切にする児童
- ・自ら正しいと信じることに従って主体的に行動する児童
- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にできる児童

高学年分科会

- ・思いやりの心をもち、相手の立場を考えて親切にする児童
- ・差別や偏見をすることなく、公正、公平な態度で接することができる児童
- ・自分と異なる意見や立場を尊重し、自分の考えや意見を相手に伝えられる児童

研究主題 考え、議論する道徳に向けた授業改善と評価の工夫

研究仮説 道徳科の授業および学校の教育活動全体を通して、自分と異なる考えに接し、自らの考えを深めたり、他者の考えを認め合ったりする活動を充実すれば、自他を大切にし、主体的に行動し、よりよく生きようとする児童が育つであろう。

研究方法

①分科会提案授業

②一人一回実践授業

③教育活動全体を通して行う指導

研究授業の実践より

4年生(中学年)

- 平成29年5月24日(水)
- ・主題名「仲間と助け合って」
- ・教材名「同じ仲間だから」
- ・ねらい
友達と互いに理解し、信頼することのよさに気づき、助け合おうとする態度を育てる。

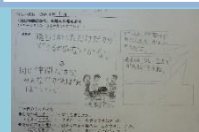


板書の工夫



登場人物の心情を視覚的に捉えやすくした。

考えを深める工夫



板書とワークシートの構成をそろえ、心情の変化を視覚的に捉えやすくした。

話し合う工夫



自分の考えを明確にするため、ハンドサインを活用した。互いの意見を聞き合いやすい学習隊形を作った。

成果

ワークシートを道徳ファイルに綴じて自己評価に活用できた。また、道徳コーナーを設置することで年間を通して道徳的価値について日常的に触れることができた。

2年生(低学年)

- 平成29年6月28日(水)
- ・主題名「友達のために」
- ・教材名「ともだちやもんな、ほくら」
- ・ねらい
身近にいる友達と仲よく活動し、助け合っていこうとする心情を育てる。



教材提示の工夫



教材を紙芝居にして提示することで、児童が物語の内容に入り込めるようにした。

話し合い活動の工夫



話し合いの際に、「お話玉」を使い、児童同士で意見を繋いだ。

板書の工夫



中心発問での主人公の悩む気持ちを視覚的に捉えやすくすることで、共感できるようにした。

成果

教材を紙芝居にし、読み聞かせたことで、児童が主人公の悩みを自分事として考えることに繋がった。お話玉やハンドサインを活用し、自分の考えを表現するきっかけを作ることができた。

1年生(低学年)

- 平成29年7月19日(水)
- ・主題名「友だちはいいな」
- ・教材名「こころはっぱ」
- ・ねらい
友達と進んでかかわり、仲よくしようとする心情を育てる。



教材提示の工夫



ICTを活用しながら範読をすることで、心情の変化を視覚的に捉えやすくした。

話し合い活動の工夫



自分の考えを明確に表現するために、隣の人に自分の考えを伝える場面を設定した。

役割演技の工夫



役割演技を取り入れることで、登場人物の心情を考えやすくした。

成果

ICTを活用して挿絵を提示し、範読を行うことで、児童が集中して教材の内容に入り込むことができた。また、役割演技を取り入れたことで、児童が自分の考えを深めることができた。

一人一回実践授業

4年2組

主題名「分かち合う友達」
教材名「なんとなく」
ねらい

友達の思いや考えを伝え合い、互いを理解することで信頼し、助け合おうとする態度を育てる。

ワークシートに主人公と相手の心情を並べて書かせることで、比較して捉えやすくさせる。

すずかけ高学年

主題名「友達に親切にしよう」
教材名「学きゅうえんのさつまいも」
ねらい

友達から親切にされたときに、進んで感謝の気持ちを伝えようとする態度を育てる。

イラスト提示やICT機器を活用することで、場面を理解させる。

6年1組

主題名「謙虚に広い心をもって」
教材名「フランコ乗りとピエロ」
ねらい

相手の意見を受け入れたら、自分の過ちを認め、相手のよさを尊重したいしようにする態度を育てる。

事前アンケートの結果を導入で生かす。心情変化表を用い、1単位時間での変容をみとる。

すずかけ低学年

主題名「ともだちとなかよく」
教材名「おかげないいすさん」
ねらい

友達とはどういうものなのかを理解する。友達と一緒に活動することの良さを感じ、進んで仲よくしようとする心情を育てる。

体験的な活動を行い、友達と仲よく活動することの楽しさや良さを実感させる。

3年生(中学年)

●平成29年9月20日(水)

- ・主題名「違いを受けとめて」
- ・教材名「あかねちゃんが心配だ」
- ・ねらい

違いを受けとめて相手の思いを知ろうとし、自分も理解を得られるように思いを伝えようとする態度を養う。

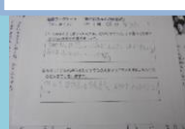


板書の工夫



心情の変化を視覚的に捉えやすくした。

展開後段の設定



自分自身との関わりの中で考えを深めさせた。

発問の工夫



展開前段から後段につなげる価値理解の発問を行った。

成果

板書の工夫により、児童が視覚的に課題を捉えることができた。価値理解の発問を行うことで、自分自身の課題として考えるきっかけを作ることができた。

5年生(高学年)

●平成29年10月26日(水)

- ・主題名「相手のことを考えて」
- ・教材名「くずれ落ちた段ボール箱」
- ・ねらい

相手の立場や気持ちを考え、誰に対しても温かく接していこうとする態度を育てる。



範読の工夫



ICT機器を活用して範読することで、視覚的に捉えやすくした。

話し合いの工夫



少人数のグループで話し合うことで活発に意見交換ができた。

発問の工夫



切り返しの発問を行うことで、より深く価値項目について考えることができた。

成果

ICT機器を活用して範読することで、視覚的に捉えることができた。教材の内容をより理解することができ、児童が意欲的に考える手立てとなった。

すずかけ学級

●平成29年11月1日(水)

- ・主題名「真心をもって」
- ・教材名「あいさつに、心をこめて」
- ・ねらい

礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する態度を養う。



教材の工夫



自分の生活と関連する内容を教材にしたことにより、児童が主体的に活動できた。

話し合いの工夫



ペアで発表し、考えを伝え合うことで、友達の意見や考え方を知ることができた。

資料提示の工夫



ICT機器を活用して資料を提示したことにより、内容を理解することができた。

成果

ICT機器を活用することで児童が学習に集中できた。あいさつにこめた自分の気持ちを振り返ることで、心をこめたあいさつの大切さに気付くことができた。

6年生(高学年)

●平成29年11月7日(水)

- ・主題名「男女の友情と協力」
- ・教材名「言葉のおくい物」
- ・ねらい

互いに信頼し、男女仲よく協力し合おうとする心情を育てる。



話し合いの工夫



友達の考えを聞き、多様な考え方がふれることができた。

導入の工夫



児童に考えさせたい価値項目について、教師の体験談を話した。

発問の工夫



価値理解をもとに展開前段から展開後段へのつながりを意識した自己を見つめさせる発問をした。

成果

話し合い方を工夫することで、児童が活発に意見交換することができた。また、友達の意見や考えを聞くことにより、多様な考えにふれることができた。

1年2組

主題名「だれにでも優しく」
教材名「はしのうえのおおかみ」
ねらい

幼い人や高齢者など身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

役割演技を取り入れ、登場人物の心情を考えやすくする。

5年2組

主題名「相手の立場に立って」
教材名「最後のおくい物」
ねらい

自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるかを考えようとする態度を育てる。

主発問について3人グループで話し合い、友達の考えも取り入れることで様々な気づきを促す。

2年1組

主題名「みんなで仲良くするために」
教材名「おかげない いすさん」
ねらい

友達と仲良く遊んだり勉強したりし、困っているときは助け合おうとする思いやりの気持ちを育てる。

「個→少人数→全体」へと段階的な話し合い活動を行う。「お話玉」を使って、児童に考えをつないで話す意識をもたせる。

3年2組

主題名「友だちのよさ」
教材名「たまちゃん、大すき」
ねらい

友達のことを理解したり、友達との関係のあり方を考えたりすることで、友達を大切にしようとする態度を育てる。

資料提示の際にICT機器や音楽を使用し、教材に引き込む。

意識調査

意識調査回答人数
児童:337名

そう思う

どちらかとい
えば
そう思う

どちらかとい
えば
そう思わない

そう思わない

1	道徳の勉強は好きだ。
2	道徳の授業で、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりすることが、好きだ。
3	道徳の学習をして、大切な考え方がわかったことがある。
4	道徳の学習をして、自分のよさや課題について考えたことがある。
5	友だちの考えを聞いて「その考えはわかる」「そんな考えもあるんだな」などと思ったことがある。
6	友だちの考えを参考にして、自分の生活について振り返ったことがある。
7	自分とは違う意見の人の話もよく聞いて、認めることができる。
8	道徳の学習を通して、自分がよりよく生きていくためには、どんな行動をすれば良いかがわかってきた。
9	友だちと話し合ったり議論したりすることで、良い考えや新しい考えがうかんだことがある。
10	道徳の学習を通して、学習したことを実際の生活に生かそうと思ったことがある。



意識調査の考察

低学年

道徳の学習を通して、自分の考えだけで終わるのではなく、友達の考えを最後まで聞いたり、どんな考えか関心をもったりすることができるようになった。

中学年

道徳の学習を通して、友達の考えを聞き、話し合ったり議論したりすることで、様々な意見があることを認め、それを肯定的に受け止めることができるようになった。

高学年

道徳の学習を通して、自分の考えとは違う友達の意見も認め、自分がよりよく生きていくために、どのように行動すればよいかを判断できるようになった。

今年度の成果

○授業改善の工夫

- ・ICTや紙芝居、読み聞かせ等教材提示を使い分けることで、児童が教材に入り込みやすくなることのできた。
- ・ねらいは何かを常に意識して授業づくりを行うことで、次の授業づくりの改善につながった。
- ・意図的・計画的な板書により、児童の思考の流れを視覚的に捉えることができた。
- ・ペアやグループなど目的によって座席の配置を意図的に変えることで、話し合いが活発になり、考えを広げたり深めたりすることができた。

○評価の工夫

- ・道徳コーナーを作ることで、学習した内容や道徳的価値について日常的に振り返ることができた。
- ・ワークシートの構成を精選し、書く分量をしばることでどの児童も取り組むことができ、しっかり見取ることができた。

今後の課題

- 振り返りの際に、自分をしっかりと見つめさせる発問をどのように作るか、研究を深めていく必要がある。
- ワークシートからだけでなく、発言や話し合い活動からどのように評価を行うかを検討していく必要がある。

研究に携わった本校教職員 ◎研究推進委員長 ○研究推進委員

校長 川合 一紀	副校長 大竹ヨシ子
1 年○阿部 知香	4 年 及川ゆかり
1 年 伊藤はるみ	5 年 中嶋 一裕
2 年○中澤 一利	5 年○関 啓隼
2 年 池田 悠哉	6 年○秋元 貴敬
3 年○中村 良行	6 年 松岡 一喜
3 年 鈴木 沙耶	すずかけ ○中尾 朋子
4 年○花谷真理子	すずかけ 葉梨 千遥

すずかけ 石川 恒志	教諭 梶間 美樹
音楽○野田 尚美	教諭(産休) 藤井志保里
図工 藤波ふじ子	講師 片山 香
少人数 宇塚 一美	講師 田本 和子
養護 星加 明子	講師 森栗 咲紀
栄養士 小林百合子	講師 向野久美子
教諭 中田 道予	講師 西村 輝雄

専門員 吉田 凡平
指導員 田端 俊也
支援員 久保田 恵
事務 尾川ゆかり
事務補助 小島 亮子
S C 渡邊 舞衣
ICT 秋山 達也